

取材先	下関友の会		
企画名	家事家計講習会 ～くらしにリズムを楽しんで！～		
取材日	2022年10月19日(水) 天候[晴れ] [ 10:00~11:30 ]	取材地	川中公民館

レポート

下関友の会は、雑誌「婦人之友」の愛読者の会で、今年で創立91周年となる長い歴史を持つ会です。「最寄（もより）」という地域のグループを基本に、衣食住や家計簿などの勉強会を行ないながら、料理実習講習会や「子育てひろば」など、さまざまな活動を通して、会員外の方にも生活の中で役に立つ情報を発信されています。

今回の「家事家計講習会」には、会員外の方も含めて20名余りが参加されました。「値上げラッシュ 進むキャッシュレス 家計簿つけて安心へ」をスローガンに、3つのテーマについて会員3名が1人1テーマで話をした後、3グループに分かれて話し合いをし、残った時間で、会場の展示物を見て回りました。

テーマ「朝こそ野菜をプラスして」では、野菜を上手に摂るコツ、「15分でわくわく軽やかに」では、毎日気になるところを気負わず15分片付けると良いことなどが紹介されました。そして「家計簿つけられました。スッキリ ピッタリ」では、パソコンやスマホで家計簿がつけられるという「クラウド家計簿」が紹介されました。どのお話もやってみようと思わせるもので、実践すると気分がスッキリするという点が共通していると感じました。

各グループでの話し合いも大いに盛り上がり、展示されているいろいろな出版物や、環境にやさしいタコ糸で作ったたわし、被せておけば保温調理ができる「鍋帽子」などなど、皆さん興味深く話を聞かれていました。

また今回「羽仁もと子家計簿」には、予算の考え方が取り入れられていて、募金や寄付など社会のために使う「公共費」という費目があることを知り、私も家計簿をつけてみたくなりました。皆さんも家計簿をつけて、安心生活を送りませんか？



「友の会」の紹介コーナー



会員の話を聞く全体の様子



グループの話し合いでは、男性参加者とも話が大大に盛り上がりました！



朝食に100gの野菜を摂るための献立やお勧めレシピを紹介



保温調理ができる鍋帽子作ってみたいという声も！



展示された出版物について説明をしている様子



雑誌「婦人之友」

状況写真